

和し 鍛え 学ぶ

今日は令和6年度の最後の登校日でした。1時間目に各種表彰や次期生徒会役員の任命式、修了式を行いました。明日から春休みに入ります。生徒会担当や交通安全担当の教員からも生徒に向けて話がありましたが、生徒の皆さんには4月から良いスタートが切れるよう、安全で充実した休みを過ごしてください。保護者の皆様、地域の皆様、令和6年度も大変お世話になりました。今年度も、本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。4月からも、末野原中学校をどうぞよろしくお願ひいたします。



3月24日（月）令和6年度修了式「在校生への校長式辞」

先日の卒業式は、本当に感動的でした。卒業していった40回生の先輩方も立派でしたが、それを支える在校生の皆さんのが本当に立派でした。教務主任の先生が、最初の練習の時から皆さんをほめていましたが、私の目から見ても、とても立派な在校生の姿でした。それは皆さんのが自分たちの役割をよく理解し、卒業生に最高の卒業式を贈ってあげたいという思いを表現したからだと思います。思いは先輩たちに伝わり、みんなの想いが広がって感動的な卒業式になりました。思いを行動に表せるのは、やっぱり素敵なことだなと改めて感じました。

今日の修了式は、令和6年度の締めくくりであり、皆さんにとっては「今の学年からの卒業」という意味があります。今年、何度か全校集会で皆さんに話をしてきましたが、今日は、それぞれの学年を卒業する皆さんに、いつもの集会のような「校長の話」ではなく、式辞を述べる気持ちで話します。



4月に皆さんはそれぞれ学年が上がり、最高学年、あるいは1年生は先輩と呼ばれる立場になります。一つ、大人に近づきます。

皆さんは苦手な食べ物はありますか。私は食べられないものや嫌いなものは一つもないです。あえて、一つ上げるとしたらピーマンです。苦みと食感がすこし苦手です。

私たちが物を食べるとき、甘い、苦い、酸っぱい、辛いなどの味を舌で感じます。私たちの舌には「味蕾（みらい）」と呼ばれる味覚センサーがついていて、味を感じる仕組みになっています。甘み、塩味、旨味は、人間が生きていくうえで必要なエネルギー、ミネラル、たんぱく質を含むものとして、赤ちゃんや子どもであっても「体に良いもの、安全なもの」と認識するのだそうです。対して、酸味（酸っぱい味）や苦みについては、腐敗している、毒があると認識されるそうで、子どもたちはそうした味を避ける傾向にあります。これは本能的なものであると考えられています。

皆さんもこうした乳児期、幼児期を経て、様々な経験をし、今では、「辛いもの、苦いもの、酸っぱいもの」の中にも好きなものがあるのではないかと思います。それは経験を積んで、食べてもよいもの、安全なものが自分で判断できるようになったということだと思います。

また、別の例として、子どものときによく遊んだ公園、自転車で走った道、こども園や小学校の遊具など、久しぶりにその場所に行くと「あれ？こんなに狭かったっけ？あんなに小さかったっけ？」と感じた経験はないですか。それは皆さんの体が大きくなつて、背が高くなり、目線が上がつたからです。

物事を鳥のように上から広く眺めることを「俯瞰(ふかん)する」といいます。下からや横から見ていた時には気づかなかつたことを、少し遠くから、あるいは距離をとつて広く眺めることで、いろんなことに気づきます。

大人になるということは、苦い味も酸っぱい味も、自分で判断して食べるかどうか決められるということ。そして、広い視点で、また、適度な距離感で、物事や自分自身、そして相手を見ることができるようになるということ。言ってみれば、受け止め方や見方の受け皿が大きくなるということです。それによって世界が広がり、違う価値観の人も理解しようと思えたり、自分自身に受け入れる幅がでつて自分が楽になつたり、ほかの人とうまく付き合えるようになつたり、ほかの人の良いところを見つけられやすくなつたりします。

さて、4月から皆さんはそれぞれ進級します。この2年で、あるいはこの1年で、さんはいろいろなことを経験してきました。楽しいことばかりではなく、苦い味も辛い味も経験したかもしれません。けれど、それは、皆さん自身の受け皿を大きくし、見方を広げるのに役立つ経験だったかもしれません。

4月からは、少し目線を遠くまでやつて、自分が果たすべき役割は何であるか、よりよい自分、よりよい仲間、よりよい学級、よりよい学年・学校のためにどうしたらよいか考え、広い視野をもつて自分のため、仲間のため、後輩のために行動できる、そんな2年生、3年生を目指してほしいです。



それぞれの学年からのご卒業、おめでとうございます。

4月からの皆さんのはらなる成長を祈りつつ、令和6年度修了式校長式辞とします。

令和7年3月24日修了式 在校生への式辞



最後の学級活動 「1年間ありがとう」

1時間目の修了式の後、2時間目は最後の学級活動を行いました。担任の先生は生徒一人一人と話しながら通知表を手渡しました。その後の学級の時間では、みんなで1年間を振り返りながら仲間と先生との最後の時間を過ごしていました。笑顔、拍手、仲間や先生への「ありがとう」が各教室から聞こえてきました。1年間、仲間とともに育んできた絆をこれからも大切にしてください。

